

ノーベル化学賞

赤字: ウェブサイト「医学の歴史」「放射線医学の歴史」へのリンク  
 青字: その他の医学に関連の深い業績

受賞年	受賞者名	国籍	受賞理由
1901	ホッフ Jacobus Henricus van't Hoff	オランダ	化学熱力学の法則, 溶液の浸透圧の発見
1902	フィッシャー Hemann Emil Fischer	ドイツ	糖類およびプリン誘導体の合成
1903	アレニウス Svante August Arrhenius	スウェーデン	電解質溶液理論
1904	ラムゼー William Ramsay	イギリス	稀ガス元素の発見
1905	バイヤー Johann Friedrich Wilhelm Adolf von Baeyer	ドイツ	有機染料, ヒドロ芳香族化合物の研究
1906	モアッサン Henri Moissan	フランス	フッ素の研究, モアッサン電気炉の製作
1907	ブフナー Eduard Buchner	ドイツ	無細胞的発酵の発見
1908	ラザフォード Ernest Rutherford	イギリス	元素の壊変, 放射性物質化学の研究
1909	オストヴァルト Friedrich Wilhelm Ostwald	ドイツ	触媒作用, 化学平衡, 反応速度の研究
1910	ヴァラッハ Otto Wallach	ドイツ	脂環式化合物の研究
1911	キュリー Marie Skłodowska-Curie	フランス	ラジウム, ポロニウムの発見
1912	グリニャール François Auguste Victor Grignard	フランス	グリニャール試薬の発見
1913	サバティエ Paul Sabatier	フランス	有機化合物の水素化法の開発
1914	ヴェルナー Alfred Werner	スイス	分子内原子の結合の研究
1915	リチャーズ Theodore William Richards	アメリカ	原子量の精密測定
1916	ヴィルシュテッター Richard Martin Willstätter	ドイツ	クロロフィルの研究
1917	—	—	—
1918	ハーバー Fritz Haber	ドイツ	アンモニア合成法の開発
1919	—	—	—
1920	ネルンスト Walther Hermann Nernst	ドイツ	熱化学の研究
1921	ソディ Frederick Soddy	イギリス	放射性物質の化学的研究
1922	アストン Francis William Aston	イギリス	非放射性元素の同位体の発見, 質量分析器の開発
1923	プレーグル Fritz Pregl	オーストリア	有機化合物の微量分析法の開発
1924	—	—	—
1925	ジグモンディ Richard Adolf Zsigmondy	ドイツ	コロイド化学の確立
1926	スヴェドベリ Theodor Svedberg	スウェーデン	分散系に関する研究会
1927	ヴィーラント Heinrich Otto Wieland	ドイツ	胆汁酸の構造研究
1928	ヴィンダウス Adolf Otto Reinhold Windaus	ドイツ	ステリン類とビタミン類の関連性の研究
1929	ハーデン Arthur Harden	イギリス	糖類の発酵の研究
1930	オイラー=ケルビン Hans Karl August Simon von Euler-Chelpin	スウェーデン	ヘミンとクロロフィルの構造研究
1931	フィッシャー Hans Fischer	ドイツ	高圧化学的方法の発明
1932	ボッシュ Carl Bosch	ドイツ	—
1933	ベルギウス Carl Bosch	ドイツ	—
1934	ラングミュア Irving Langmuir	アメリカ	界面化学の研究
1935	ユーリー Harold Clayton Urey	アメリカ	重水素の発見
1936	F・ジョリオ=キュリー Frédéric Joliot-Curie	フランス	人工放射性元素の発見
1937	I・ジョリオ=キュリー Irène Joliot-Curie	フランス	—
1938	デバイ Peter Joseph William Debye	オランダ	双極子モーメント, X線, 電子線回折の研究
1939	ハース Walter Norman Haworth	イギリス	炭水化物およびビタミンCの構造研究
1940	カラー Paul Karrer	スイス	カルテノイド, フラビン, ビタミンA, B2に関する研究
1941	クーン Richard Kuhn	ドイツ	カルテノイド, ビタミンに関する研究
1942	ブーテナント Adolf Friedrich Johann Butenandt	ドイツ	性ホルモンの研究
1943	ルジチカ Leopold Ružička	スイス	ポリメチレン類, テルペン類の研究
1944	—	—	—
1945	ヘヴェシー George de Hevesy	ハンガリー	トレーサとしての同位体の応用
1946	ハーン Otto Hahn	ドイツ	原子核分裂の発見
1947	ヴィルタネン Artturi Ilmari Virtanen	フィンランド	農業化学, 栄養化学, 飼料保存法の研究
1948	サムナー James Batcheller Sumner	アメリカ	酵素の結晶化の発見
1949	ノースロップ John Howard Northrop	アメリカ	酵素とウイルス蛋白質の結晶化
1950	スタンリー Wendell Meredith Stanley	アメリカ	—
1951	ロビンソン Robert Robinson	イギリス	アルカロイドの研究
1952	ティセリウス Arne Wilhelm Kaurin Tiselius	スウェーデン	電気泳動装置の発明, 血清蛋白質の研究
1953	ジオーク William Francis GIAUQUE	アメリカ	化学寝る力学の研究, 極低温の物性の研究
1954	ディールス Otto Paul Hermann Diels	西ドイツ	ディールス・アルダー反応の発見
1955	アルダー Kurt Alder	西ドイツ	—
1956	マクミラン Edwin Mattison McMillan	アメリカ	超ウラン元素の発見
1957	シーボーグ Glenn Theodore Seaborg	アメリカ	—
1958	マーティン Archer John Porter Martin	イギリス	分配クロマトグラフィーの発明
1959	シング Richard Laurence Millington Synge	イギリス	—
1960	シュタウディンガー Hermann Staudinger	西ドイツ	鎖状高分子化合物の研究
1961	ポーリング Linus Carl Pauling	アメリカ	化学結合, 複雑な分子の構造研究
1962	デュ・ヴィニョー Vincent du Vigneaud	アメリカ	硫黄含有生体物質(オキシトシン, パソプレシン)の構造決定
1963	ヒンシェルウッド Cyril Norman Hinshelwood	イギリス	気相系の化学反応速度論の研究
1964	セミョーノフ Nikolay Nikolayevich Semyonov	ソ連	—
1965	トッド VLord (Alexander Robertus) Todd	イギリス	ヌクレオチドとその補酵素の研究
1966	サンガー Frederick Sanger	イギリス	インスリンの構造決定
1967	ヘイロフスキー Jaroslav Heyrovský	チェコスロバキア	ポラログラフィーの発見
1968	リビー Willard Frank Libby	アメリカ	炭素14による年代測定法の研究
1969	カルヴィン Melvin Calvin	アメリカ	光合成の研究
1970	ペルーツ Max Ferdinand Perutz	イギリス	球状蛋白質の研究
1971	ケンドリュー John Cowdery Kendrew	イギリス	—
1972	ツィーグラ Karl Ziegler	西ドイツ	新しい触媒を用いた重合法の発見
1973	ナッタ Giulio Natta	イタリア	—
1974	ホジキン Dorothy Crowfoot Hodgkin	イギリス	X線回折法による生体物質の分子構造決定
1975	ウッドワード Robert Burns Woodward	アメリカ	有機合成化学に関する功績
1976	マリケン Robert Sanderson Mulliken	アメリカ	分子軌道法による化学結合, 分子の電子構造の研究
1977	アイゲン Manfred Eigen	西ドイツ	短時間エネルギーバースによる高速化学反応の研究
1978	ノーリッシュ Ronald George Wreyford Norrish	イギリス	—
1979	ポーター George Porter	イギリス	—
1980	オンサーガー Lars Onsager	アメリカ	不可逆過程の熱力学の研究
1981	バートン Derek Harold Richard Barton	イギリス	分子の立体配座概念の確立
1982	ハッセル Odd Hassel	ノルウェー	—
1983	ルロワール Luis Federico Leloir	アルゼンチン	糖ヌクレオチドの発見, 糖生合成の研究
1984	ヘルツベルク Gerhard Herzberg	カナダ	フリーラジカルの電子構造と幾何学的構造の研究
1985	アンフィンセン Christian Boehmer Anfinsen	アメリカ	リボヌクレアーゼのアミノ酸配列決定
1986	ムーア Stanford Moore	アメリカ	—
1987	スタイン William Howard Stein	アメリカ	—
1988	フィッシャー Ernst Otto Fischer	西ドイツ	サンドイッチ構造を持つ有機金属化合物の研究
1989	ウィルキンソン Geoffrey Wilkinson	イギリス	—
1990	フローリー Paul John Flory	アメリカ	高分子化学の基礎研究
1991	コーンフォース John Warcup Cornforth	イギリス	酵素による触媒反応の立体化学的研究

1976	プレローグ	Vladimir Prelog	スイス	
1976	リップスコム	William Nunn Lipscomb, Jr.	アメリカ	ボランの構造研究
1977	プリゴジン	Ilya Prigogine	ベルギー	非平衡熱力学, 散逸構造の研究
1978	ミッチェル	Peter Dennis Mitchell	イギリス	生体膜におけるエネルギー転換の研究
1979	ブラウン	Herbert Charles Brown	アメリカ	新しい有機合成法の開発
	ウィットティヒ	Georg Wittig	西ドイツ	
1980	バーグ	Paul Berg	アメリカ	核酸の生化学的研究
	ギルバート	Walter Gilbert	アメリカ	核酸の塩基配列の決定
	サンガー	Frederick Sanger	イギリス	
1981	福井謙一		日本	化学反応過程の理論的研究
	ホフマン	Roald Hoffmann	アメリカ	
1982	クルーグ	Aaron Klug	イギリス	電子線結晶学, 核酸・蛋白質複合体の立体構造の研究
1983	タウベ	Henry Taube	アメリカ	金属錯体の電子遷移反応機構の研究
1984	メリフィールド	Robert Bruce Merrifield	アメリカ	固相反応によるペプチド化学合成法の発明
1985	ハウプトマン	Herbert Aaron Hauptman	アメリカ	結晶構造を直接決定する方法の確立
	カール	Jerome Karle	アメリカ	
1986	ハーシュバーク	Dudley Robert Herschbach	アメリカ	化学反応素過程の動力学的研究
	李遠哲	Yuan Tseh Lee	アメリカ	
	ポラニー	John Charles Polanyi	カナダ	
1987	クラム	Donald James Cram	アメリカ	高選択的構造特異的な相互作用をする分子の発明
	レーン	Jean-Marie Lehn	フランス	
	ペダーゼン	Charles John Pedersen	アメリカ	
1988	ダイゼンホーファー	Johann Deisenhofer	西ドイツ	光合成反応中心の三次元構造の決定
	フーバー	Robert Huber	西ドイツ	
	ミヒェル	Hartmut Michel	西ドイツ	
1989	アルトマン	Sidney Altman	アメリカ	RNAの触媒機能の発見
	チェック	Thomas Robert Cech	アメリカ	
1990	コーリー	Elias James Corey	アメリカ	有機合成理論および方法論
1991	エルンスト	Richard Robert Ernst	スイス	高分解能NMRの開発
1992	マーカス	Rudolph Arthur Marcus	アメリカ	溶液中の電子移動反応理論の研究
1993	マリス	Kary Banks Mullis	アメリカ	DNA化学の手法開発(PCR法の発明)
	スミス	Michael Smith	カナダ	DNA化学の手法開発(オリゴヌクレオチドによる部位特異的突然変異法の発明)
1994	オラー	George Andrew Olah	アメリカ	カルゴカチオン化学の研究
1995	クルッツ	Paul Jozef Crutzen	オランダ	大気化学, 特にオゾンの生成と分解に関する研究
	モリーナ	Mario Jose Molina	アメリカ	
	ローランド	Frank Sherwood Rowland	アメリカ	
1996	カール	Robert Floyd Curl Jr.	アメリカ	フラーレンの発見
	クロトー	Harold Walter Kroto	イギリス	
	スモーリー	Richard Errett Smalley	アメリカ	
1997	ボイヤール	Paul Delos Boyer	アメリカ	ATP合成の酵素機構の解明
	ウォーカー	John Ernest Walker	イギリス	
	スコウ	Jens Christian Skou	デンマーク	Na, K-ATPaseの発見
1998	コーン	Walter Kohn	アメリカ	密度汎関数法の発明
	ポープル	John Anthony Pople	イギリス	量子化学における計算化学的手法の発明
1999	ズウェイル	Ahmed Hassan Zewail	アメリカ	フェムト秒分光学による遷移状態の研究
2000	ヒーガー	Alan Jay Heeger	アメリカ	導電性高分子の発見
	マクダイアミッド	Alan Graham MacDiarmid	アメリカ	
	白川英樹		日本	
2001	ノールズ	William Standish Knowles	アメリカ	不斉触媒による水素化反応の研究
	野依良治		日本	
	シャープレス	Karl Barry Sharpless	アメリカ	
2002	フェン	John Bennett Fenn	アメリカ	生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発
	田中耕一		日本	
	ヴュートリヒツヒ	Kurt Wüthrich	スイス	
2003	アグレ	Peter Agre	アメリカ	アクアポリンの発見
	マキノン	Roderick MacKinnon	アメリカ	細胞膜イオンチャネルの研究
2004	チカノーバー	Aaron Ciechanover	イスラエル	ユビキチンを介する蛋白質分解の発見
	ハーシュコ	Avram Hershko	イスラエル	
	ローズ	Irwin Rose	アメリカ	
2005	ショーヴァン	Yves Chauvin	フランス	有機合成におけるメタセシス法の発明
	グラブス	Robert Howard Grubbs	アメリカ	
	シュロツク	Richard Royce Schrock	アメリカ	
2006	コーンバーク	Roger David Kornberg	アメリカ	真核生物における転写の研究
2007	エルトル	Gerhard Ertl	ドイツ	固体表面の化学反応過程の研究
2008	下村脩		日本	緑色蛍光蛋白質の発見
	チャルフィー	Martin Lee Chalfie	アメリカ	
	チエン	Roger Yonchien Tsien	アメリカ	
2009	ラマクシュナン	Venkatraman Ramakrishnan	アメリカ	リボゾームの構造と機能の研究
	スタイツ	Thomas Arthur Steitz	アメリカ	
	ヨナス	Ada E. Yonath	イスラエル	
2010	ヘック	Richard Fred Heck	アメリカ	有機合成におけるパラジウム触媒クロスカップリング
	根岸英一		日本	
	鈴木章		日本	
2011	シェヒトマン	Dan Shechtman	イスラエル	準結晶の発見
2012	レフコウィッツ	Robert Joseph Lefkowitz	アメリカ	G蛋白質共役受容体の研究
	コビルカ	Brian Kent Kobilka	アメリカ	
2013	カープラス	Martin Karplus	アメリカ	複雑な化学系のためのマルチスケールモデルの開発
	レヴィット	Michael Levitt	アメリカ	
	ウォーシエル	Arieh Warshel	アメリカ	
2014	ベツィク	Eric Betzig	アメリカ	超高解像度蛍光顕微鏡の開発
	ヘル	Stefan Hell	ドイツ	
	モーナー	William E. Moerner	アメリカ	
2015	リンダール	Tomas Lindahl	スウェーデン	DNA修復機構の研究
	モドリッチ	Paul L. Modrich	アメリカ	
	サンジャール	Aziz Sancar	アメリカ	
2016	ソヴァージュ	Jean-Pierre Sauvage	フランス	分子マシンの研究
	ストッドアート	Fraser Stoddart	イギリス	
	フェリンハ	Ben Feringa	オランダ	
2017	ドゥボシェ	Jacques Dubochet	スイス	クライオ電子顕微鏡の発明
	フランク	Joachim Frank	アメリカ	
	ヘンダーソン	Richard Henderson	イギリス	
2018	アーノルド	Frances Arnold	アメリカ	酵素の指向性進化法の開発
	ウィンター	Greg Winter	イギリス	ペプチドおよび抗体のファージディスプレイ法の開発
	スミス	George P. Smith	アメリカ	
2019	グッドイナフ	John B. Goodenough	アメリカ	リチウムイオン電池の発明
	ウィットティングガム	M. Stanley Whittingham	イギリス	
	吉野彰		日本	
2020	シャルパンティエ	Emmanuelle Charpentier	フランス	ゲノム編集法の開発
	ダウドナ	Jennifer Doudna	アメリカ	
2021	リスト	Benjamin List	ドイツ	不斉有機触媒の開発
	マクミラン	David MacMillan	イギリス	

2022	ベルトツツイ メルダル シャープレス	Carolyn R. Bertozzi Morten P. Meldal Karl Barry Sharpless	アメリカ デンマーク アメリカ	クリックケミストリーと生体直交化学の開発
------	--------------------------	---	-----------------------	----------------------